



エントツを日本一生かしたまちづくり

# シトツだって文化したい 全国エントツ文化シンポジウム

この富士市には欠かせないエントツを、市民、企業、行政が一体となって、まちづくりに役立てようと、十一月十五日「全国エントツ文化シンポジウム」が行われました。富士市の呼びかけで、北海道から九州まで全国各地から約二百五十人がラ・ホール富士に集まって、講演やパネルディスカッションを行いました。十六日は実際に富士市のエントツの状況を視察。富士山をバックにした街並みとエントツなどを熱心に見学しました。

産業のシンボルだったエントツも、今は景観や公害などの問題で邪魔者に見られがち。しかし今回のシンポでは、逆にエントツを都市デザインや環境などのシンボルとして、市民参加のまちづくりへの第一歩としようという意見も出ました。これをきっかけにして、富士市に住んでよかつたと思えるようなエントツ文化都市をつくつてみませんか。

皆さんはエントツと聞いて何をイメージしますか。産業、目印、公害など、いろいろあると思います。富士市には五メートル以上のエントツが三百六十五本あります。あまり気にしていない人もいるのです。





△「これからエントツをどう生かすか」を論議したパネル・ディスカッション



△会場には、全国各地から約250人が訪れ、熱心にエントツ文化について考えました

### 「住民参加で生まれ変わった世田谷区のエントツ」

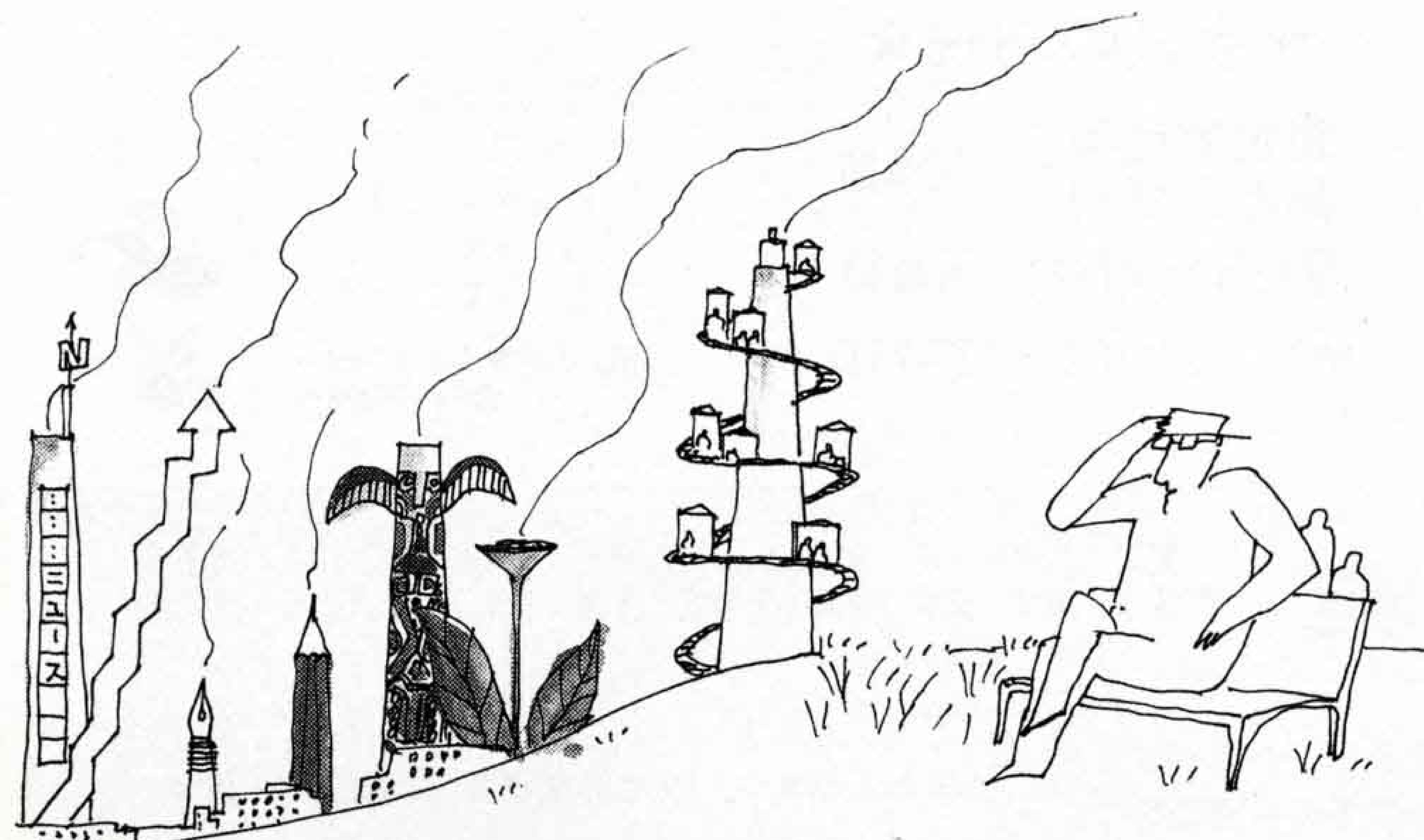
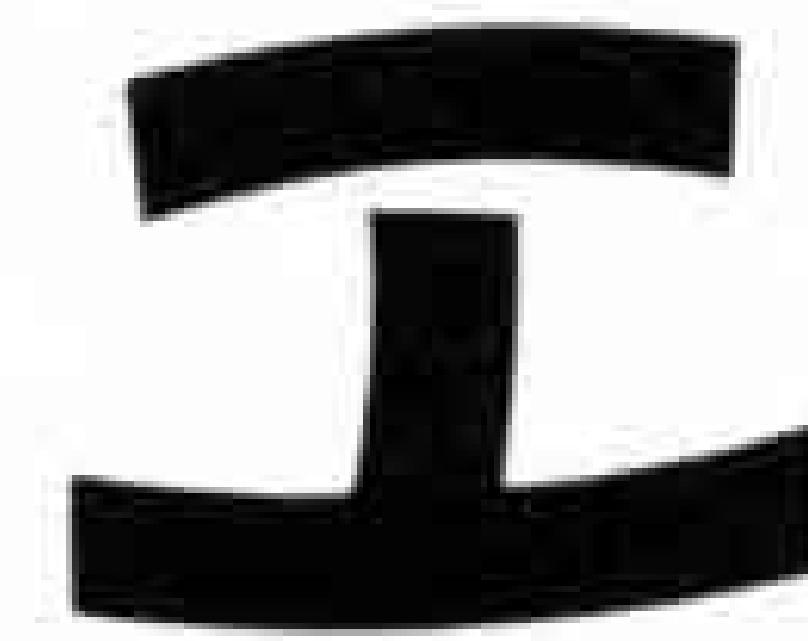
事例発表 卯月盛夫さん

世田谷区の都立清掃工場のエントツは  
デザインを全国から公募して  
住民参加で生まれ変わりました  
新しいエントツは  
区民の誇りになり  
区民はまちづくりへの関心を  
よりいっそう深めました



### 「真剣な目で富士市のエントツを視察」

16日のエクスカーションでは  
富士市全体に広がるエントツを  
真剣な目で視察しました  
市全体が工業中心の街なので  
市民、企業、行政が一体となれば  
エントツは地域の文化に  
なるのでは…



「日本一の地域づくり夢づくり絵本」から

▽8月には県立富士高と常葉短大の学生さんの協力で、エントツがある企業を訪問。エントツを擬人化したエントツ名簿をつくりました

